

栗環政第169号

令和元年6月28日

栗東市火葬場

建設検討委員会委員長 様

栗東市長 野村 昌弘



本市の火葬場に関する整備方針等について（諮問）

市では、これまで市単独での火葬場建設を検討してきた経緯がありますが、実現には至っておらず、現時点では草津市営火葬場や野洲川斎苑等の近隣火葬場を利用する状況が続いています。このような状況の中、草津市営火葬場においては、施設の老朽化が進み、また高齢化の進展による火葬件数の増加が見込まれることから新たな施設の必要性について検討が進められ、草津市から広域連携による新たな火葬場整備について提案を受け、両市が火葬場に関する整備方針等の検討を行うこととなりました。

過去に開催された火葬場建設検討委員会では、市単独で火葬場を設置することについて検討され、「今日の社会情勢に呼応した市町村の広域合併推進による広域行政の観点や、近隣市町の火葬場建設による栗東市民の利用状況に鑑み、栗東市での単独建設を見直すことが妥当である。」との答申（平成15年5月1日付け三浦喜實男委員長）がありました。

前回の答申から16年が経過しており、急速な高齢化等社会情勢も変化していることから、市として火葬場に関する整備方針等の検討について必要性を認識しているところであります。

つきましては、火葬場に関する整備方針等につき下記の事項について貴委員会の意見を求めます。

記

1. 火葬場整備の必要性及び広域連携について
2. 火葬場整備の事業手法について